



# 口加だより

平成28年9月30日発行  
長崎県立口加高等学校  
第6号

## あやめが丘の窓から

### 大切にしたい3つの「間」

校長 下 釜 祐 保



大切にしたい3つの「間」がある。それは、「時間」、「空間」、そして「人間」である。

「時間を守る」。このことは、相手や周囲を尊重するということである。それは、自分の信用を得ることにつながる。さしずめ、高校生にとっては「約束の時間を守る」、「課題の提出期限を守る」ことなどであろうか。それは、自分のためでもあり、相手や周囲の人のためでもある。やがて諸君らが主役となる“社会”という舞台においても、最も大切にしたいことの一つである。

「(身の回りの)空間を整える」。掃除をすることで、気づく人になれるとよく言われる。掃除をすることで、感動する心・感謝する心を育てるとも言われる。そして、他人のため、社会のために尽くせる人になれる。心を育てるには、身の回りを整えることが一番なのかもしれない。整理、整頓、感動、感謝…、常に心がけたいものだ。

「人間関係力を高める」。基本は、さわやかな挨拶と返事、そして身なりを正すこと。それは、相手に礼を施すことに他ならない。挨拶の「挨拶」には、心を開くという意味、「挨拶」には、心に近づく、相手に迫るという意味がある。挨拶をすれば人間関係が良くなり、しなければ悪くなる。挨拶のコツは、自分が先に、心を込めて、さわやかにである。本校生の挨拶には定評があり、地域の方から「口加高生のさわやかな挨拶に、心が洗われた」などのお電話を頂戴することもしばしばであるが、自然な形で礼を施す挨拶を極めたいものだ。

明治時代の教育者であり哲学者であった森信三先生は、「時を守り、場を清め、礼を正す」という言葉で人や組織の規範を示唆しておられる。真の基本は、どんな時代にも、どんな場所でも普遍というもの。

学校行事や対外試合の多い第2学期である。幼い頃から驍として教わってきたものばかりだが、改めて高校生としての解釈を加え、3つの「間」を大切に実践して欲しい。



#### 学年だより

##### ～第1学年より～

2学期が始まり、1ヶ月が経とうとしています。すでに終了した体育祭では、勝つために必死に競技に取り組み、仲間を本気で応援する姿を見ることができました。さらに、3年生の指導のおかげで少しピシッとなったかなと思います。ちなみに私は「卑怯者」と言われ、足を痛める始末・・・(笑)

さて、2学期には大きな学校行事が集中しています。学校行事だけでなく、部活動においても多くの試合が行われ、校外でのボランティア活動もあります。当然**学習は日々継続**です。まさに「充実の秋」。この秋をより実のあるものにするために必要なことは「メリハリ」と「切り替え」です。多くのことをしなければならぬ多忙な高校生活を、より良く・効率よく・一生懸命に頑張るためにとても重要です。ファイト！

(1学年主任 松本 辰哉)

##### ～第2学年より～

台風の影響で延期となった体育祭も、無事終了することができました。2年生は集団演技で、集団行動の他に組体操も披露しました。練習の過程では演技が成立せず、はらはらする場面もありましたが、本番ではみごとに成功させました。組体操は「どうせできないさ」という気持ちでやるのと、「**何が何でも成功させる**」という**覚悟**でやるのでは、結果に大きな差が出ます。皆さんの「なんとでも」という気持ちがだんだんと結果につながっていったように見えました。2学期には、まだ大きな行事が2つ残っています。文化祭と修学旅行です。体育祭は、3年生の先輩たちががんばって、口加高校の伝統を継承してくれました。しかし、これからは2年生が中心です。先輩に頼ることはできません。先輩から学んだことを思い出し、**学校の中心として自覚した行動**をとりましょう。

(2学年3組担任 後田 昌彦)

##### ～第3学年より～

台風の影響によって延期となった体育祭でしたが、3年生のすばらしいリーダーシップによって各団とも下級生を見事にまとめ上げ、行事を成功に導くことができました。最上級生としての自覚を持って行動し、同級生や下級生の個性や持ち味を十分に生かそうと努力し、真摯に取り組んだ結果です。本当にご苦労さまでした。

今後はいよいよ、卒業後に自分が立つべきステージを選択・決定する段階へ移行します。この行事をとおして身につけた、「**前に踏み出す力**」「**考え抜く力**」「**チームで働く力**」(すなわち「社会人基礎力」)に加えて「**基礎学力**」や「**専門知識**」を充実させ、「**大人**」への**歩み**を進めながら進路実現に向けて全力で取り組みましょう。

この学び舎を巣立つまであと半年を切りましたが、やるべきことはまだまだ山積み。その中で更なる成長を見届けられることがますます楽しみです。

(3学年4組担任 小原 義康)



# 第66回体育祭

9月6日(火)に第66回体育祭が行われました。青く晴れ渡る空の下、練習を重ね作り上げてきた成果を余すところなく披露し、無事に終えることができました。平日開催にもかかわらず、多くの保護者の方々にご来場いただき、誠にありがとうございました。



## 黄組団長 田栗杏華

先日の体育祭は台風の影響で延期になったにも関わらず、たくさんの方々の声援があり、私達にとってとても力になりました。ありがとうございました。私達、黄組は、リーダーは決まっていたのですが、そのリーダーだけではなく、3年生のみんながリーダーとしてがんばってきました。班別活動のはじめの頃は、私達リーダーも戸惑いながらどのように指導してよいのか分からず、下級生にもたくさん迷惑をかけてしまいました。ですが、元気はつらつとした1年生、集団行動の練習などで忙しい2年生が大きな声を出し、いつも笑顔で練習をしてくれる姿にすぐ助けられました。だから今回の体育祭は、黄組71人全員でつくり上げたものだと感じています。結果がどうであれ、黄組らしくできたことを嬉しく思います。3年生のみんなありがとう。そして黄組のみんなありがとう。ご指導頂いた先生方、温かいご声援を下された保護者の方々、本当にありがとうございました。来年の皆の活躍を期待しています。がんばってください。

## 青組団長 宮崎 雄

体育祭お疲れ様でした。今年も、台風の影響で平日に開催されましたが、たくさんの方々の声援のおかげで、とても力になりました。

今年の体育祭は最後の体育祭で、団長を務めさせていただいたということもあり、特別なものとなりました。初めは、団をうまくまとめることができず、上手くいかないことばかりでした。しかし、青団の1、2年生は疲れも見せずに、3年生にしっかりとついてきてくれました。特に2年生は集団行動で練習時間が限られていたのですが、その時間で一生懸命班別活動に取り組んでくれました。応援では、太鼓を使った型を取り入れました。全員がそろったときの迫力に、青団の団結力を感じとても感動しました。

来年は全校生徒一丸となって今までで最高の体育祭を作り上げてください。短い間でしたが、青団の皆さんありがとうございました。

## 赤組団長 山田竜彦

体育祭お疲れ様でした。今年の体育祭は、赤組の団長をやらせていただき、難しいことばかりでしたが、人一倍の達成感を味わうことができました。

初めての体育祭でもしっかりついてきてくれた1年生。集団行動の練習で時間のないなかがんばってくれた2年生。後輩たちにも伝染するほどのやる気で団全体を引っ張ってくれた3年生。

皆のおかげで総合優勝という結果を残すことができ、最高の体育祭でした。ありがとうございました。

## 緑組団長 森山将伍

体育祭お疲れ様でした。平日にも関わらず多くのご声援、本当にありがとうございました。団長をやるにあたって、集団をまとめ、引っ張っていくことの難しさを感じました。大変なことも多かったのですが、それよりも得るものは大きかったと思っています。

緑組は勝てない、というジンクスがあり、また今年はどこよりも人数が少なかったため、絶対に優勝するという強い思いで体育祭に臨みました。しかし、果たすことはできませんでした。でも、悔いはありません。今まで支えてくれた3年生、協力してくれた1、2年生に感謝したいです。今までありがとうございました。来年は更にいい体育祭にしてください。

《結果一覧》 ☆総合の部☆  
優勝：赤組

☆応援の部☆  
優勝：青組 2位：緑組

☆行進の部☆  
優勝：赤組 2位：青組

☆競技の部☆  
優勝：赤組 2位：黄組

## 生徒会役員始動



坪井 辰哉君 龍田 真里さん  
中村 昌太君

9月から新生徒会が動き出しました。会長の中村君をはじめ、15名が中心となり口加高校を盛り上げていきます。

### 生徒会長 中村昌太君からのメッセージ

皆さんこんにちは。生徒会長の中村昌太です。果たして僕が生徒会長に相応しいのか不安になりますが、皆さんから信頼していただける生徒会長になれるよう頑張ります。まだまだ未熟者なのでご迷惑をおかけすることが多いと思いますが、これからもよろしくお願ひします。

## 職員ペンリシー

### 本多 優子

テレビを見る際、放送部の顧問として気になってしょうがないポイントが多くあります。先月行われたオリンピックのある試合では、生中継が終わったその3分後にダイジェスト版が流れました。私は試合そのものにも感動していましたが、その編集技術の高さと処理速度の速さにも驚かされました。当たり前のように見ているテレビの裏にも、プロのさりげない高い技術が光っているのだと感じた瞬間でした。

当たり前を自然に感じさせるものとは何なのでしょう。まず間違いがないという完璧さ、そしてなぜ完璧なのか。付き進めていくとプロの厳しさについても考えさせられます。

皆さんはそれぞれ「〇〇になりたい」という夢の下、日々勉強しているかと思います。それから進んで「プロの〇〇になる」という目標を掲げてみませんか。さあ、みなさんは何のプロになりたいですか。そしてそのプロフェッショナルはどうやって実現させますか。共に考えていきたいものです。

## ★今月の生活創造コース★

### 3年生

- 12日(月) 民間講師招聘事業(ウォーキング講座)  
香蘭ファッションデザイン専門学校より講師をお招きし、菖蒲祭で行うファッションショーに向けて、美しく見せるウォーキングの方法を教わりました。
- 14日(水) 介護体験(玉成園)  
シーツ交換・着脱介助・排泄介助などの介護技術を教わりました。

### 2年生

- 16日(金) 第3回 乳幼児親子交流  
沐浴の方法も学びました

